

令和三年度 専門高校生徒の研究文・作文コンクール 「経済同友会賞」6編を顕彰

みんなを描く

みんなの未来
プロジェクト

経済同友会は、専門高校の生徒の研究や学習成果に対して経済界からエールを送り、広く社会の関心を高めることを目的とした「令和三年度専門高校生徒の研究文・作文コンクール」(公益財団法人産業教育振興中央会共催)において、全国から集まった研究文40編、作文265編の中から「経済同友会賞」6編を選出した。

選考後評

審査委員長

林 礼子(学校と経営者の交流活動推進委員会 委員長)

今回で5回目となる「経済同友会賞」ですが、これまで同様、高校生の皆さんの研ぎ澄まされた感性や旺盛な探究心がストレートに伝わってくる候補作品ばかりであり、各作品を読み進める時間はとても有意義な一時でした。

経済同友会は、企業経営者が個人の立場で参加し、若い皆さんが希望の持てる日本に向けて、政策提言やその実現のための行動を続けている経済団体です。この賞は、将来を担う高校生の志に共感し、応援していきたいという思いで作られたものです。

今回、経済同友会の「学校と経営者の交流活動推進委員会」の委員長である私のほか、2名の副委員長が審査員となり、発想のオリジナリティ、論旨の首尾一貫性や結論の納得性、成長が期待できるワクワク感などの観点から、最終的に作文3点、研究文3点を選ばせていただきました。

それぞれの受賞作は、身の回りの出来事や実体験から、高齢化社会、多様性を尊重する共生社会、食の大切さ、生物多様性、コロナ禍への対応など社会のあり方を考えさせられるものや、ご自身の夢に向けた高い志を掲げたものなど、いずれも秀逸であり、感銘を受けました。

他の審査員の方々のコメントにも、「五感がフルに刺激され、作者と一緒に活動しているかのようにワクワクしたままに読み切らせていただいた」「作者の意志の強さと人々に対する感謝の気持ちが並外れており、感動した」「改善策を積み上げていく姿は、日本の製造業を世界レベルに持ち上げ、世界が模倣した『カイゼン』に通じる」など、各作品を絶賛する言葉に溢れていました。

コロナ禍において、皆さんを取り巻く状況は大きく変化していると思います。また、これからも、これまで想像もしなかったような環境変化が訪れるでしょう。そのときに、皆さんの社会に対する問題意識や、自らの将来に対する夢を大切に持ち続け、明るい未来を切り拓いていってください。大いに期待しています。

審査委員会 敬称略。所属・役職は開催時

◆審査委員長

林 礼子 学校と経営者の交流活動推進委員会 委員長
(BofA 証券 取締役 副社長)

◆審査委員

桜井 伝治 学校と経営者の交流活動推進委員会 副委員長
(日本情報通信 取締役社長)

新倉恵里子 学校と経営者の交流活動推進委員会 副委員長
(東和エンジニアリング 取締役社長)

令和三年度 専門高校生徒の研究文・作文コンクール「経済同友会賞」受賞作品

【研究文の部】

大学生生活を楽しむための改善
愛知県立港特別支援学校【商業科3年】岩田 皐希さん
コロナ禍に対応した教室環境記録システムの開発 ～AI・IoT・クラウドを活用するための技術習得～
香川県立高松商業高等学校【情報数理科2年】岡田 楓さん、佐伯 晃希さん、湯浅 創太さん【同1年】石丸 暖人さん、魚部 亮さん、岡西 晃生さん
キンリョウヘンを用いたニホンミツバチの繁殖とSDGsへの活用
愛知県立安城農林高等学校【フラワーサイエンス科3年】黒河 新一郎さん、小林 礼さん【同2年】稲垣 汎希さん、遠藤 麻菜さん、國場 亜美さん

【作文の部】

「ありがとう」に想いをのせて
熊本県立阿蘇中央高等学校【社会福祉科3年】松野 愛生さん
女性酪農家としての野望
宮城県立都城農業高等学校【畜産科3年】財部 香奈愛さん
見えない絆
大阪府立園芸高等学校【バイオサイエンス科1年】新井 心優さん